

# いいもの成らせるさくらんぼ便り

マメコバチ 特集号 マメコバチが減少している！増殖対策を徹底しよう！

- ◆近年、「マメコバチの激減」や「受粉樹の不足」で、「成りづらい環境」になっています。
- ◆さくらんぼを「絶対成らせる」ため、自園地の課題を分析し、対策を確実に実践しましょう！



- 【訪花昆虫】① マメコバチのマユ洗浄の実施  
② ミツバチの導入 (20a に1群が目安)



- 【受粉樹】① 切り枝の設置  
・「紅さやか」の枝を多く残し、開花前に切って設置  
② 高接ぎの実施  
・2月中に穂木を採取し、4月中に高接ぎ



- 【摘芽】① 摘芽程度の見直し  
・例年より1芽多く残す  
・霜の常襲地帯では無摘芽

- ・結実が安定している園地は、「マメコバチ」と「ミツバチ」を併用している  
【マメコバチ】比較的低温で活動、訪花数が多い  
【ミツバチ】移動距離が長く、広範囲を訪花
- ・マメコバチの適切な飼養管理と、計画的なミツバチの導入で、結実を安定させよう！



マメコバチ

## 1 ヨシ巢の更新

### ○ヨシ巢の確認

- ・古いヨシ巢には天敵が寄生している。2～3年ごとの更新が必須



コナダニ類



カツオブシムシ



入口がふさがっている巣でも、天敵が蔓延している



### ○新しいヨシ巢の調整

- ・内径5～7mmの太さのものを使用
- ・節から9～15cm程度に切り、束ねる
- ・10a 当たり、500～800本程度を用意
- ☆ヨシ筒内側の薄皮を除去することで、営巣率が向上

## 2 マユ洗淨の実施

○天敵被害を防ぐには、**マユ洗淨**が有効

### (1) 実施時期

**1 1月～3月上旬**

(注) 遅くとも3月上旬までに  
マユ洗淨を終了する

### (2) 準備するもの

接木ナイフ、ステンレスボウル、ザル(2mm目程度、ステンレス製)、  
網しゃくし、ハケ、育苗箱、新聞紙、紙箱(マユ保管用)

### (3) 注意点

- ・2～3年以上使ったヨシ巢では、必ず実施
- ・気温が低い場所で、冷水を使う
- ・マユをつぶさないよう、丁寧に優しく扱う
- ・切開時に出るゴミは、園地外で処分する

### (4) 作業手順

#### ① 巢筒を切開する



・巢筒の端に接木ナイフを当て、上に持ち上げるように切開する

#### ② マユを取り出す



・マユをつぶさないように取り出す  
・切開後のヨシは適切に処分する

#### ③ マユを冷水に浸す



・ステンレスボウルにマユを入れ、水を注ぎ、マユ全体が濡れるように浸し、かき混ぜるようにして汚れを落とす(約1分)

#### ④ マユを洗淨する



・ボウルの上にザルを重ね、網しゃくしでマユをザルに移す  
・ザルに少量の冷水を入れる  
・ハケでマユをザルに優しくこすり付け、表面の汚れを落とす(約3分)

※上記の手順を3回程度繰り返す  
網しゃくしとザルは、洗淨・交換しながら使用する

#### ⑤ マユの乾燥・保管



・新聞紙の上にマユを広げ、冷暗所で約2日間乾燥させる(※ネズミの食害に注意)  
・乾燥したマユを紙箱に入れ、冷蔵庫等の涼しい場所で保管



切開後の巢筒は焼却するか  
園地外に埋めて処分する



### 3 洗浄マユの設置

#### (1) 設置時期

「佐藤錦」の発芽 10 日後  
頃 (3 月末～4 月上旬)

↑ 設置時期の花芽

紙箱に鉛筆の太さ程度の穴を  
複数あけて巣箱に設置 ↓

#### (2) その他

さくらんぼの開花とマメコバチの訪花を合わせるため、  
ヨシ巢を冷蔵庫等の涼しい場所で保管し、開花に  
合わせて巣箱に移動してもよい



### 4 増殖のための優良事例

#### (1) 冬期の作業

- 2～3 年を目安に**定期的にマユ洗浄を実施**
- ヨシは、**内径 5～7mm 程度**のものを使用
- エアーコンプレッサーやブラシで**薄皮を除去**

#### (2) 春期の作業

##### ① 営巣環境の整備

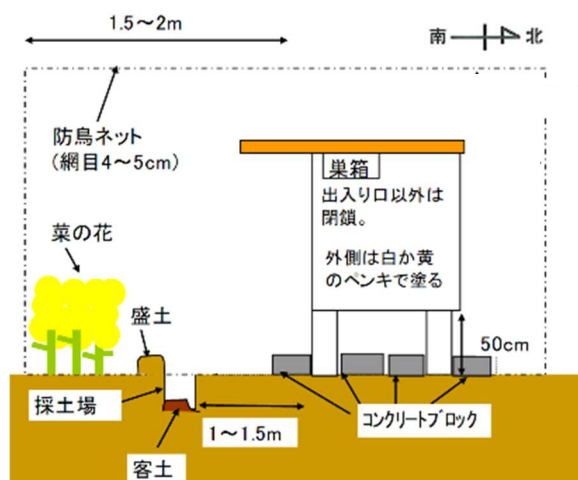
- 天敵を減らすため、**巣箱内を掃き掃除**

##### ② 園地環境の整備

- **風上側に防風ネットを設置** (ハチの活動を阻害する場合があるため、全面被覆しない)
- **開花期間中は十分に灌水** (1 週間で 10a 当たり 20t 程度が目安)
- 開花期間中は**下草を除草しない** (訪花昆虫の餌源とするため)

##### ③ 管理のポイント

- 鳥害防止のため出入口の金網に加え、**広めに防鳥ネットを設置**
- **多様な餌減を確保**  
(菜の花、レンゲ、クラブアップル、啓翁桜等)
- マメコバチ保護のため、**殺虫剤散布時**  
は、板等で**巣箱の出入口を遮断**
- **ドラム缶**は、夏季に高温になりやすい  
ため、**木製の巣箱**に更新

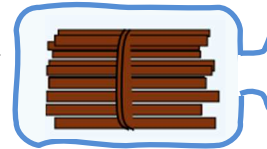


■ 巣箱設置の優良事例 (「マメコバチ利用・増殖の手引き」より)

#### ※ 古いヨシ巢は 3 年を目安に処分する

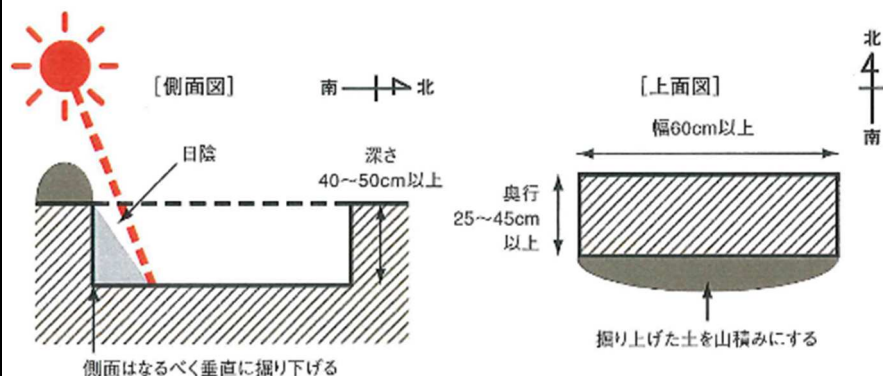


- ・マユを取り出した古い巢は、焼却又は園地外に埋めて処分する
- ・マユ洗浄をしない場合は、古いヨシを巣箱から出し、シート等で覆い (出口を作る)、地面に設置し、ハチが出た後に古い巢を処分する



#### ④ 採土場設置のポイント

- **採土場は深く掘り** (40～50cm 程度)、掘った土を巣箱の反対側に盛土
- 穴を掘る代わりに、**バットに土を入れて設置**しても良い (**毎朝必ず給水!**)
- **保水性が高く、粘土質の強い土** (赤土や陶芸用の土等が適する) を使う



■ バットを使用した事例  
(乾かないように毎朝給水)

#### (3) 夏期の作業

- 巣箱を**高温にしない**ため、断熱材等で**遮熱** (40℃を上回るような極端な高温では、マメコバチがマユの中で死ぬ)
- ヨシ巢に直射日光が当たらないように、寒冷紗等で**遮光** (熱気がこもらないように注意)
- ヨシ巢を小屋等の涼しい場所に移動して、保管してもよい



■ 断熱材を使用した事例  
(ドラム缶は高温対策が必須)

#### (4) その他

- ハチマンションの利用で、マユ洗浄の効率アップ!
- ハチマンションはヨシ巢が入っていない巣箱に設置
- ハチマンションは自作可能  
(杉板などの天然木材に、5～7mm のトリマーで溝を掘り、上下に重ねる)

##### 市販のマメコバチマンションの例



■ 1セット両面で 114 穴、材質は杉板で、繰り返し使用が可能



■ 9月中旬開封時の  
営巣状況



■ もみ袋とコンプレッサーで、  
省力的にマユの取り出しが可能

【農作業安全】 剪定作業等、足場の悪いなかでの高所作業が増えてきます。雪上で脚立を使用する際には、足場をしっかり踏み固め、必ずチェーンをかけ、最上段には上らないようにしましょう。